

NO	委員名	ご意見・ご質問等	本市の考え方・計画素案への反映
<b>大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)の策定について</b>			
<b>介護人材の確保に関すること</b>			
1	中尾 認知症施策部会長兼保 健福祉部会長代理	少子高齢化社会で介護人材が少なくなってくる状況で、介護人材のところをもう少し記載することができないか。	福祉・介護サービスのニーズは今後ますます増加、多様化することが予想され、それらを担う人材の育成・確保は重要な課題と考えております。 委員のご意見を踏まえ、第6章「計画の基本的な考え方」、第7章「重点的な課題と取組み」、第8章「具体的施策」の介護人材の確保に関する項目に追記いたしました。  P112「第6章-2(3)介護現場の革新～人材確保・生産性の向上～」 P185「第7章-4(5)介護人材の確保及び資質の向上」 P244「第8章-4(5)福祉人材の確保等」
2	永岡委員	介護問題について、労働環境がよくないというのは、よくいわれており、家族の中でも介護の問題がある、介護で仕事をしていくうえで、専門職を増やしていくのに雇用の環境、労働環境をどう改善していくのか、大阪市としてそのためにこういう点が必要だということを少し書いていただけないかと思う。	
3	川井介護保険部会長	人材確保・生産性の向上において、ICTの活用等により、環境自体変わりつつあるのでそれを推進することとかを入れていただくことはできないか。	
4	濱田委員	介護人材不足について、介護支援専門員、社会福祉士など他の人材が不足しているような状態であるので、対策を進めていただきたい。	
5	花岡委員	介護人材確保にしっかり力をいれたい。	
<b>複合的な課題を抱えた人に関すること</b>			
1	永岡委員	計画本文では、複雑化した、多様化した、複合的な課題を抱えた人々の問題の中に、居住の問題、8050、老老介護生活困難、経済的な問題もあると思う。経済的な点や生活を維持できない家族全体が困っているケースについて、第7章複合的課題のところにもう少し含まれればと思います。丁寧に書いていただいているが、もう少しシビアな問題があると思うので踏み込んで大阪市としてこういうことがしたいというものがあればいいと思う。	複合的な課題を抱えた人へについては、様々な問題があると考えております。 委員のご意見を踏まえ、「第7章-1(4)複合的な課題を抱えた人への支援体制の充実」に文言を追記いたしました。  P135「第7章-1(4)複合的な課題を抱えた人への支援体制の充実」
<b>在宅医療・介護連携に関すること</b>			
1	中尾 認知症施策部会長兼保 健福祉部会長代理	なかなか在宅医療を担う医師が育たないなか、大阪市として、在宅医をどのようにして増やしていくのかということを少し記載していただき、そのうえで、在宅医療・介護連携の推進につなげていただければと思う。	在宅医療・介護連携を推進していく中で、在宅医を増やしていくことは、重要と考えております。 委員のご意見を踏まえ、「第8章-1(1)在宅医療・介護連携の推進」に関する項目に追記いたしました。  P199「第8章-1(1)在宅医療・介護連携の推進」